

「なにわ筋線 阪神高速道路改築工事説明会」における主な質問と回答

説明会当日および問合せフォームからいただきました主な質問と回答の要旨についてお知らせします。

No.	質問事項	回答
工事工程		
1	着手時期が今となった原因は何か。	各種関係機関との協議に時間を要したため、この時期での着手となりました。
2	本工事の後の鉄道工事の工程について教えていただきたい。	今回の工事ヤード範囲内の鉄道工事については、基本的に本工事完了後に行う予定をしておりますが、一部本工事と並行して行うことも検討しています。当該エリアの鉄道工事については、別途説明会を開催してご説明させていただく予定です。
工事内容の案内		
3	夜間工事は、どのような作業を予定しており、実施期間はどの程度を見込んでいるか。また、特に騒音や振動が大きくなる作業については、事前に住民へ周知する予定はあるか。	本工事にあたっては、地中の杭を撤去する等の工事を実施する際に 4 年間で約 30 日間の夜間作業を予定しております。工事ヤードの仮囲いに工事情報を掲示し、周辺の皆様への周知に努めます。
工事の影響（騒音・振動・粉塵・地下水）		
4	騒音・振動・粉塵等で日常生活に支障をきたした場合にどのように対応してもらえるのか。	騒音・振動が発生しうる工事については、それらを抑制する重機や工法を使用します。騒音については防音シートで作業現場を囲って作業する等の対応を行い、法令で定められた基準値を遵守して工事実施いたします。粉塵については必要に応じて散水を行う等、発生抑制に努めます。なお、工事に伴う環境面でお気づきの点がありましたら、ご連絡いただけますと幸いです。

5	騒音・振動・粉じん・悪臭などについて住民から苦情があった場合、どのような対応をするのか。	工事に伴う環境面でお気づきの点がありましたら、説明会資料 35 ページに記載しております関西高速鉄道もしくは施工会社の奥村組までご連絡いただくようお願いいたします。特定建設作業の規制基準等、基準を満たすように工事を進めてまいります。万が一基準を超過するような事象が発生した場合は、基準を満足させるように速やかに是正いたします。
6	工事期間中の騒音・振動・粉じん・悪臭などについて、どの地点で、どのような頻度で測定を実施する予定か。	騒音、振動、粉じんに関しては工事内容や作業位置が変わる度に計測をする予定です。現時点で、公開予定はございませんが、測定結果を考慮しながら周辺環境への影響低減に努めてまいります。なお、当該工事の計測結果ではございませんが、大阪都市計画都市高速鉄道なにわ筋線事業については、大阪市環境影響評価対象事業に選定されておりますので、大阪市のホームページにて事業全体に対する環境影響評価を毎年公開する予定をしております。
7	工事の進捗状況、夜間工事の予定、環境測定結果などについて、定期的な住民説明会や報告資料の公開を行う予定はあるか。	仮囲いに工事情報を掲示し、工事の進捗状況や夜間工事の予定について随時ご案内いたします。
家屋調査		
8	工事開始前に、周辺住宅の外壁や室内、共用部分などの現況調査は実施するのか。また、工事期間中または工事完了後に、振動等が原因と考えられるひび割れ、不同沈下、建具の不具合、給排水設備への影響などの被害が発生した場合、どのような方法で原因を調査・判定し、補償を行うのか。	地面を掘削する影響について、一般的に掘削底部から 45 度の線を描いて内側に入る範囲を影響範囲（家屋調査範囲）と想定しております。そちらの範囲に入る家屋に対しては、家屋調査（工事着手前と工事完了後の 2 回の建物調査）を実施させていただきたいと考えております。対象となる家屋には、調査会社が個別で訪問させていただき、調査方法等の詳細をご説明させていただきます。事後調査の結果、工事に起因した損傷等が認められた場合、国の基準に基づき、補償させていただきます。

交通規制		
9	車両通行止めについて、一般の車が分かるような案内看板は掲出するのか。	車両通行止めの約2週間前から車両通行止め箇所の周辺道路に案内看板を掲出いたします。
10	車両通行止めに伴い、狭い道路に流入する車両が増えて危なくなる。	大きい道路に迂回していただくような案内周知に努めます。
11	仮歩道の幅が2mとなっているが、もう少し広げられないのか。	市営住宅の敷地を一部使用して仮歩道として整備することで、2mの仮歩道幅を確保していますが、施工上それ以上の歩道幅を確保することはできません。
12	仮歩道の照明はどうなるのか。	仮歩道にLED照明を設置して必要な照度を確保いたします。
13	新設橋脚設置時のパークス通りの車両通行止めの計画を教えてください。	阪神高速道路橋脚の改築が完了するまで約4年間、パークス通りが南北方向に車両は常時通行止めとなります。なお、仮歩道を設置いたしますので、歩行者については通行いただけます。
東西横断		
14	なにわ筋線により東西方向に横断できなくなる交差点について、歩道橋を計画しているとのことであるが、計画の協議に参加したい。	交差点の東西横断対応につきましては、これまでの説明会等でいただいた皆様のご意見を踏まえながら検討させていただいているところでございます。歩道橋・エレベーターの設置形態等については、検討が進捗しましたら、説明会等で内容を説明させていただいてから、いただいたご意見を踏まえて整備を行うようさせていただきますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。
15	歩道橋の計画について、詳細が決まる前に住人の意見を取り入れてから決めていただきたい。	交差点の東西横断対応につきましては、これまでの説明会等でいただいた皆様のご意見を踏まえながら検討させていただいているところでございます。歩道橋・エレベーターの設置形態等については、検討が進捗しましたら、説明会等で内容を説明させていただいてから、いただいたご意見を踏まえて整備を行うようさせていただきますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

16	歩道橋の位置、構造等の詳細について教えていただきたい。 また、地下道ではなく歩道橋を採用した理由を教えていただきたい。	歩道橋の位置および構造については、バリアフリーに配慮した施設を現在関係者との協議を行いながら設計を進めているところでございますので、詳細な仕様・運用については決定しておりません。詳細が決まりましたら別途説明会等で説明させていただきます。 また、歩道橋ではなく地下道とした場合、鉄道が地下から地上に上っていく箇所であることから、地中深くに地下道を設置する必要があり、上下の移動が増えて使いづらくなるだけでなく、防犯面、浸水リスク等の懸念点があることから総合的に判断し歩道橋として検討しております。
その他		
17	改築後の阪神高速道路橋脚が現在の位置から変更しなければならない理由は何か。	阪神高速道路の門型橋脚の間に鉄道構造物と車道を整備する計画であり、現在の橋脚位置では必要な幅が確保できないため、橋脚の位置を変更する必要があります。
18	路上駐車禁止徹底はどのように実施するのか。	本工事の工事用車両については、路上駐車はしないように関係者に周知徹底いたします。また、一般車両については車両通行止め後の状況を見ながら適宜警察と相談しながら対応策を検討いたします。
19	周辺にあるコインパーキングの使用可否について教えていただきたい。	基本的に周辺駐車場は使用できますが、阪神高速道路下にある駐車場については一部スペースを工事ヤードとして使用させていただくため、駐車可能台数は減少いたします。